

# 第10回「夫婦の手紙」全国コンクール

5月4日、夫婦桜の前で『第10回「夫婦の手紙」全国コンクール公開発表会』が行われました。

最優秀賞など10作品を松前高校2年の橋畑加奈さん、菅野沙弥香さん、皆月杏華さん、泰良真鈴さんの4名が、それぞれの手紙に込められた作者の思いを、心を込めて朗読しました。



受賞者、受賞作品は次のとおりです。（敬称略。受賞作品は、最優秀賞と優秀賞のみを原文のまま掲載。）

- ◇最優秀賞  
影 路子（香川県）
- ◇優秀賞  
中矢 陽三（広島県）
- ◇佳作  
新 奈都子（京都府）  
安倍エリナ（山梨県）  
石持 誠（滋賀県）  
榎本 一美（徳島県）  
小松 章（栃木県）  
徳廣 光恵（愛知県）  
藤澤麻里子（神奈川県）  
安田 直子（長野県）

なお、今回をもって「夫婦の手紙」全国コンクールは終了となります。

今まで手紙を書いてくださった方々や審査をしていただいた町民のみなさん、係わっていただいたすべての方に感謝申し上げます。

## 最優秀賞受賞作品 見守ってください

影 路子

「俺、まだ五十八歳ぞ。」  
そう言って泣いたのは一度だけ。泣かないと決めたあなたは完治を信じてがんと闘った。その前向きさは私たち家族をも救ってくれました。

障害をもった子どもの親は下を向いてしまう。でも先生は明るく前を見ることを教えてくれました。そんな話を聞かせてくれました。二十年前と言えば、あなたが一番苦しかった時です。父の病、自分の腎臓病、そして同僚とのトラブル。そんな大変な時にあなたは、毎日笑顔で子どもたちと保

護者を元気づけていたのですね。私は四十年もあなたの一番近くにいたのに知らなかった。  
人工透析を続け、教師としても懸命に生き、自らも強く生きていったあなたは私の誇りです。愛した人です。泣いてばかりいる私に「前を向け」、そう言いたかったのです。ありがとう。  
私も一歩前に踏み出すからね。見守ってね。

## 優秀賞受賞作品 君に拍手を！

中 矢 陽 三

年末、尋ねてきた乙女達に君は保健室の先生に復活。穏やかなおばあちゃん先生の相談室が始まりました。小学生だった子供達の心に残っている君ってすごいです。共働きしていても食事、子育て何事も手を抜かなかった君。公私ともに偉大です。見栄を張らない経済観

念で若くて家を建て貧しいながらも誕生日、記念日を大切に温かい家庭を築きました。また、父の交通事故死から看護師を志した二人の娘を応援し看護師さんに。今、結婚した娘達も共働きし仕事も子育ても君と同じく全力投球で良い家庭を築いています。孫達も

優しいです。これもみんな君のお陰です。  
47年前、親の反対を押し切り若くして結婚した僕達。極貧の中、「陽三さんを男に！人生絶対に勝つ！」の君の誓いが叶い、今、とても幸せな第二の人生が過ぎていきます。君と結婚できた事に感謝！愛しています。来世も又結婚してください。